

第 1 9 在宅医療等推進事業

1 地域連携クリティカルパス開発事業

医療機関から在宅に安心して戻れる切れ目のない医療を提供するために、医療機関の機能分担と連携を図るツールとして地域連携パスについて運用が進んでいます。

当圏域では、平成25年度に、脳卒中県内統一パス様式の活用について、高島市医療連携ネットワーク運営協議会で協議後、運用を開始しています。平成27年度は急性期回復期連携会議に参画し運用状況や課題の共有を図っています。

急性期病院と回復期リハビリ病棟病院定例会（主催：計画病院）

日 時：平成27年6月25日（木）午後3時～5時

平成27年10月5日（月）午後4時半～6時10分

平成28年2月26日（金）午後2時～3時半

内 容：・地域連携パス（脳卒中、大腿骨頸部骨折）の運用状況
・維持期との連携について
・患者用パスについて等

参加者：高島市民病院・今津病院関係者、高島保健所担当

2 在宅ホスピスケア推進事業

高島地域医療福祉ビジョン（平成24年2月策定）に基づき、医療福祉を推進する高島地域協議会を中心に高島市や高島市医師会が主体で行う在宅医療介護連携推進事業への参画、共同実施により在宅医療、看取り体制の構築に努めました。

在宅医療介護連携従事者研修会（高島市在宅医療推進事業との共催）

開催日：平成27年12月5日（土）午後5時半～7時半

場 所：ウエストレイクホテル可以登楼

内 容：「がん患者や家族の医師や希望を尊重し、その人らしい生き方を支援するために」

講 師：ヴォーリス記念病院 ホスピス長 細江 順 氏

参加者：医療介護福祉関係者 95名

3 退院支援ルール評価検討事業

病院での治療から在宅療養へのスムーズな連携を図ることにより、機能維持向上と患者や家族が安心できる療養環境を早期に整備できる体制を構築する必要があることから、入退院支援を行う際の共通ルール「湖西圏域における病院とケアマネジャーの入退院支援の手引き」を作成し、病院と在宅関係者との円滑な連携の推進に努めました。

事業内容

(1) 実態調査

① 介護支援専門員への病院との連携に関する調査の実施

対 象：管内居宅介護支援事業所および小規模多機能事業所、地域包括支援センターに所属する介護支援専門員

方 法：アンケートを郵送により送付、FAXにて回答

時 期:平成27年7月21日～7月31日

回収率:95.8%(ケアマネ回答率)

② 湖西介護支援専門員連絡協議会研修会にてアンケート調査結果報告

日 時:平成27年10月24日(土) 午前9時半～12時

参加者:介護支援専門員22名

(2) 会議

① 聞き取り

管内3病院看護部長へ事業説明、介護支援専門員との連携について

時 期:平成27年8月、9月、12月

② 湖西介護支援専門員連絡協議会での情報交換会(グループワーク)

日 時:平成27年10月24日(土) 9:30～12:00

参加者:22名

③ 退院支援ルール検討会議

目 的:病院と在宅における連携の現状評価と入退院支援を行う際の共通ルール等の検討を行い、病院と在宅の円滑な連携を推進する

日 時:平成28年2月25日(木)午前10時～12時

場 所:高島保健所 2階 大会議室

内 容:入退院時連携の現状と課題について

入退院支援の基本ルールについて

参加者:管内病院看護部長・病棟師長・地域連携室関係者、湖西介護支援専門員連絡協議会長、県介護支援連絡協議会代表、高島市地域包括新センター職員等